



F1 Flexible Array Loudspeaker System

F1 Model 812 Passive Loudspeaker

設置および安全ガイドライン

BOSE PROFESSIONAL

pro.Bose.com

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要なときにすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめします。

本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設置システムにおけるスピーカーを対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供します。設置を開始する前に、本書をお読みください。

警告:

- 全てのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地域の建築に関する条例や規制など、適用される全ての法律に従ってスピーカーとおよびそのマウントシステムを設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- 重量物の不安定な設置や頭上となる場所への取り付けは、深刻な人身への危害および機器への損傷の原因となります。適用する設置方法の信頼性を評価することは、施工業者の責任です。適切な部品および安全な設置技術の知識を持つ専門の施工業者のみが、天井へのスピーカーの設置を行うことができます。
- F1 Model 812 Passive speakerを不安定な三脚スタンドで使用しないでください。スピーカーは、35 mm径のポールでのみ使用するように設計されており、三脚スタンドは次の重量とサイズを支えられる必要があります: 質量: 21.4 kg以上 (47 lb以上)、全体のサイズ: 665 mm x 334 mm x 375 mm以上 (26.2インチ x 13.1インチ x 14.8インチ以上)。F1 Model 812 Passive speakerのサイズと重量を支えるように設計されていない三脚スタンドを使用すると、不安定で危険な状態となり、負傷につながる可能性があります。



警告: 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。



警告: この製品には磁性材料が含まれています。埋め込み型医療機器の動作に影響があるかどうかについては、医師にご相談ください。

注意: 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、システムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです
(左図の場合は分解禁止を意味します)。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

⚠ 警告	
	変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜くそのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜くそのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。
	落としたり、キャビネットを破損したときは販売店に相談するそのままの状態で使用すると、落下してけがや火災、感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。

●設置、保管するとき

⚠ 警告	
	総質量に耐える場所に取り付ける 取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。
	設置場所の確認 スピーカーを取り付ける際には、人が通る場所や、容易に触れる場所に設置しないでください。スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない 腐食によりブラケットの強度が低下し、スピーカーの落下などの事故の原因となります。
	本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない 内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	スピーカーに対応した専用金具を使用 スピーカー取付けに金具を使用される場合は、スピーカーに対応した専用金具をご使用ください。対応外の金具や他社製の金具を使用すると、スピーカーの落下や破損の恐れがあります。
	配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行う 配線および取付は、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付を間違えたと、火災、その他の事故の原因となります。
	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
	適切なボルト、ナット類を使用する 取付ネジは、スピーカーおよびブラケットの重量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。
	ネジは確実に締める 締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、落下してけがの原因となります。
	落下防止ワイヤーを使用する 落下防止ワイヤーは指定された場所か落下時に耐えうところ（スピーカー本体およびブラケットの総質量の10 倍 に確実に取り付けてください。強度が足りませんと、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	スピーカーコードは安全な場所に這わせる スピーカーコードを人が通るところなど引っかかりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	本体のカバーを外したり、分解や改造をしない 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。
	梱包袋は安全な場所に保管する 製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。
	アンカーは必ず奥まで差し込む アンカーは必ず奥まで差し込んでください。また、アンカー用の下穴のサイズが大きすぎるとアンカーが効かず、スピーカーが落下して、けがの原因となります。アンカー用の下穴の深さとサイズは必ず守ってください。

●設置、保管するとき

⚠ 注意	
	設置作業は専門業者へ 設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。
	2人 以上で取り扱う 移動したり持ち上げたり運んだりする場合は、2人以上で取り扱ってください。1人で行うと、体を痛めたり本機を落としてけがの原因となる事があります。
	転倒・落下防止の処置をする 転倒・落下防止の処置をしないと、落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
	ごみ、落下物に注意 ブラケットとスピーカーの隙間に、ごみ、落下物などが入らないようにしてください。ブラケットにスピーカーの重量以上の力がかかり、落下などでけがや事故の原因となります。
	高温の場所に置かない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。
	ほこり、油煙、湿気、高温の場所に置かない ほこり、油煙、湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。
	けがに注意 スピーカーを高いところに設置される場合には、足下が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	スピーカーコードを傷付けない スピーカーコードを傷付けたら、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。コードが破損して、火災や故障の原因となることがあります。
	表面を変質させる素材を使わない アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質により、ブラケットが破損し、スピーカーの落下の原因となることがあります。

●使用するとき

⚠ 警告	
	機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない 引火して火災の原因となります。
	大音量で長時間続けて聞かない 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。
	本機には磁気材料が含まれています

⚠ 注意	
	スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりしない スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛かったり、ものをぶら下げたりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。
	長時間音が歪んだ状態で使用しない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	定期的な点検をする 定期的にスピーカーとブラケットの設置状態を点検し、設置の安全性が保たれているかどうか確認してください。またスピーカーケーブルの配線状態や、音割れ・歪みの有無、破損・欠損等の異常がないかどうか点検してください。異常がある状態で使用すると、故障や事故の原因となります。
	配線時は電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグをコンセントに差したま行くと、感電の原因となることがあります。
	電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

その他 注意事項

- この設置ガイドは、施工業者様用です。
- 建築基準法や地域の条例、安全基準などを考慮して、設置場所や取付方法を決めてください。
- 取り付ける場所の強度を確認してください。取付面とブラケットに、スピーカー本体とブラケットを含めた質量の10倍 以上の強度があることを目安にします。

はじめに

製品の概要	5
機能	5
パーツリスト	5
フレキシブルアレイの使用	6
スピーカー寸法	6
4つのカバレッジパターン	7

設置

Uブラケットマウンティングキット	8
Uブラケットマウンティングキット使用時のカバレッジパターン	9
ヨークマウンティングキット	10
ヨークマウンティングキット使用時のカバレッジパターン	10
壁掛けブラケット	11
壁掛けブラケット使用時のカバレッジパターン	11
三脚スタンドで使用する	12
三脚スタンド使用時のカバレッジパターン	13

操作

推奨パワーアンプ	14
推奨DSP設定	14
推奨されるアクティブEQ設定	15
推奨サブウーファー	15

仕様

物理的仕様	16
保証	16

追加資料

連絡先情報	17
輸入者情報	17

製品の概要

Bose® F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerは、フレキシブルアレイテクノロジーを搭載したフルレンジの小型SRスピーカーであり、使用する空間の形状に合わせて「ストレート」、「C」、「J」、「リバーズ」という4種類の垂直カバレッジパターンを選択できます。フレキシブルアレイの形状は、現場で簡単に変更でき、音響エネルギーが壁や天井面に当たるのを避け、リスナーの位置に直接サウンドを届けることが可能です。このような指向性コントロールが可能であることにより、残響の低減、客席での高いSPLを実現するため、ライブミュージックのアプリケーションに最適です。また、会場に合わせて調整しやすく、設置場所や外観について妥協する必要が少ないため、設置工事を容易に行うことができます。

F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerは、合計9基のトランスデューサーから成るフルレンジ設計で、中高域を受け持つ8つの5.7cmドライバーで構成されたフレキシブルアレイ、100°の水平ウェーブガイド、ハイクスカーションの12インチウーファーが搭載されています。本製品はスピーカーEQが必要であり、すべてのBose ControlSpace® プロセッサーまたはPowerMatch® アンプで提供されるプリセットを用いて使用できます。

機能

- **フレキシブルアレイテクノロジー** - ボーズ独自のフレキシブルバッフルを4種類の形状に設定でき、用途に応じた最適なカバレッジパターンを選択可能
- **8つの小型ドライバーで構成した中高域用スピーカーアレイ** - 独自のウェーブガイドに取り付けられた8つの小型ドライバーが、ワイドで一貫したカバレッジを実現
- **12インチウーファー搭載** - 高振幅の12インチウーファーによる高い音圧と力強い低域再生
- **フルレンジ再生** - 一般的なフルレンジでの音楽再生には単体で対応。サブウーファー追加の必要性を軽減
- **設置アクセサリ** - オプションのブラケットアクセサリと組み合わせて使用できる6つの取り付け用M8インサートを装備
ボーズ製の壁掛けブラケット、Uブラケットマウンティングキット、ヨークマウンティングキットから選択可能（別売り）
- **パッシブ設計** - 固定設備用途に最適なパッシブスピーカーシステム
- **頑丈なエンクロージャ** - がっちりとしたプロフェッショナル仕様のデザインで、固定設備にもポータブル用途にも最適
- **ポールマウント対応** - 一般的な35 mm径三脚スピーカースタンド取り付け用のポールカップを装備

パーツリスト

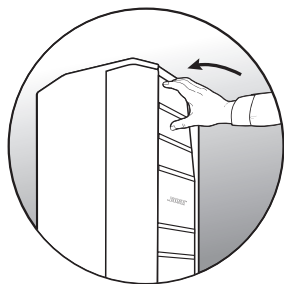
F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerには、以下のアイテムが同梱されています。

- F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker
- 設置ガイド

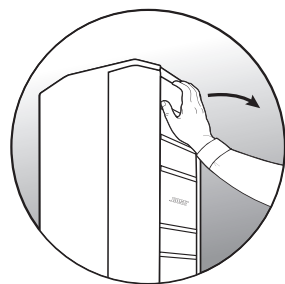
フレキシブルアレイの使用

アレイの上部と下部のポジションを変更することによってカバレッジパターンを選択できます。

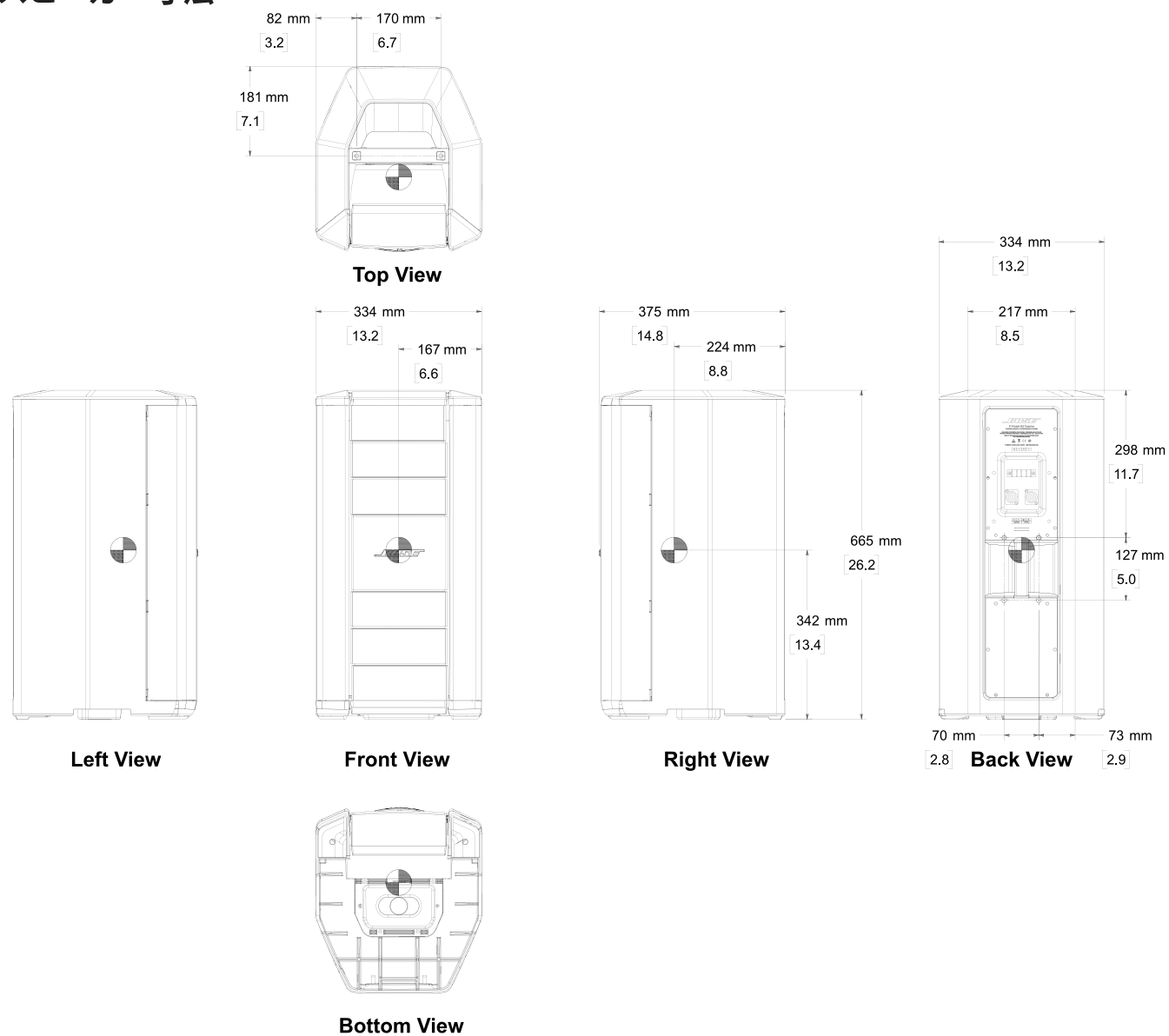
アレイを内側に押し込む



アレイを外側に引き出す

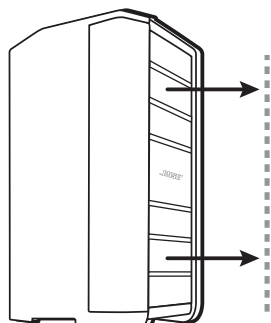


スピーカー寸法

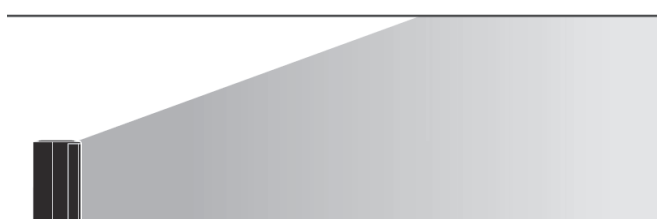
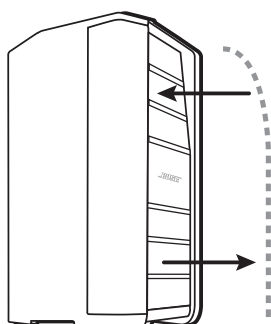


4つのカバレッジパターン

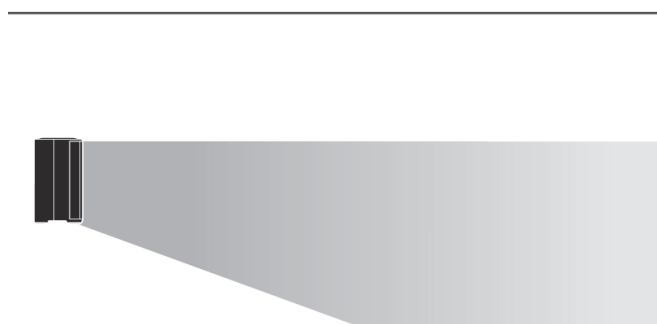
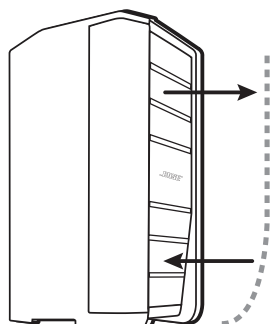
ストレートパターン



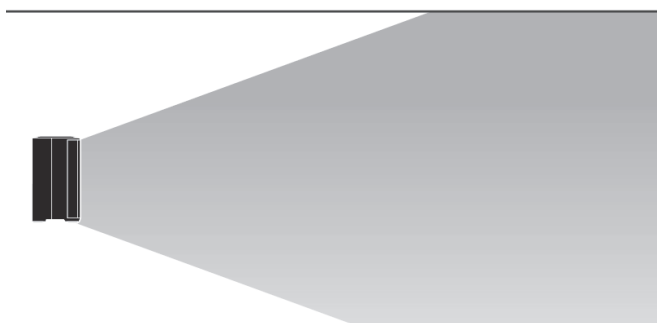
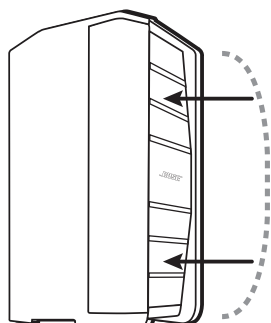
リバースJパターン



Jパターン



Cパターン



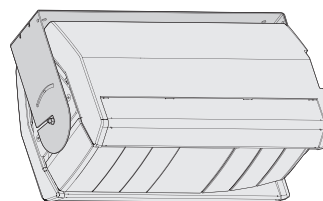
Uブラケットマウンティングキット

壁面や天井設置用のUブラケットマウンティングキットは $\pm 115^\circ$ の振り角の調整幅があり、カバレッジ角度を調整できます。F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerを水平に取り付ける場合は、フレキシブルアレイによって水平方向のカバレッジ（を4つのパターン（最大 40° ）から選択します。また、ブラケットによって垂直方向の振り角度を調整し、 100° の垂直方向カバレッジの向きを設定します。このような取り付け条件の柔軟性によって、各スピーカーの水平および垂直のカバレッジを最大に確保することが可能です。さらに非対称カバレッジの構成も可能で、側壁からの反射を軽減し明瞭性を高めることができます。

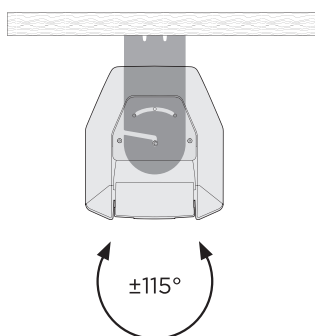
詳しい安全上の注意および設置手順については、マウンティングキットに同梱の「**U-Bracket Mounting Kit Installation Guide**」（ブラケットの取り付け方）を参照してください（製品コード736453-0110）。

Uブラケットの調整幅		
スピーカーマウント方向	水平方向の振り角度	垂直方向の振り角度
水平	-	$\pm 115^\circ$
垂直	$\pm 115^\circ$	-

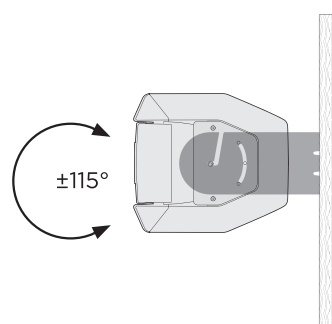
水平マウント



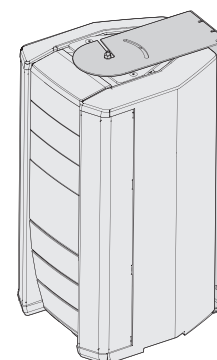
側面図: 水平マウント（天井吊り下げ）



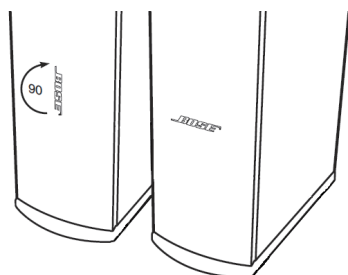
側面図: 水平マウント（壁付け）



垂直マウント



F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerは垂直に取り付けることもできます。フレキシブルアレイによって水平方向のカバレッジを4つのパターンから選択し、Uブラケットによって水平方向の振り角を調整します。

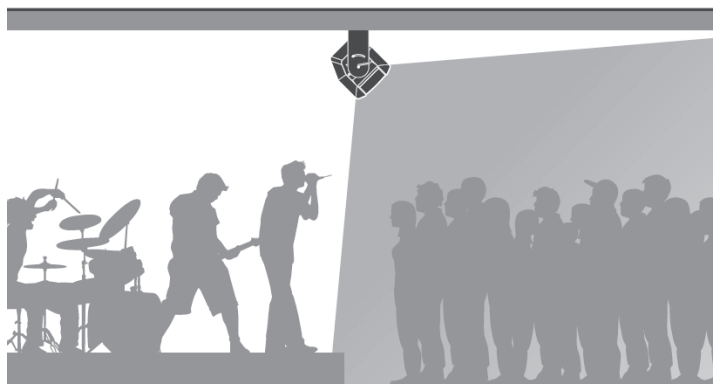


水平マウント時は、スピーカーのBose®ロゴがまっすぐに見えるように、ロゴをスピーカーグリルから引き出し、いずれかの方向に 90° 回転します。位置を微調整してから、スピーカーに向けてロゴを押し戻し、グリル面に対して平らにします。

Uブラケットマウンティングキット使用時のカバレッジパターン

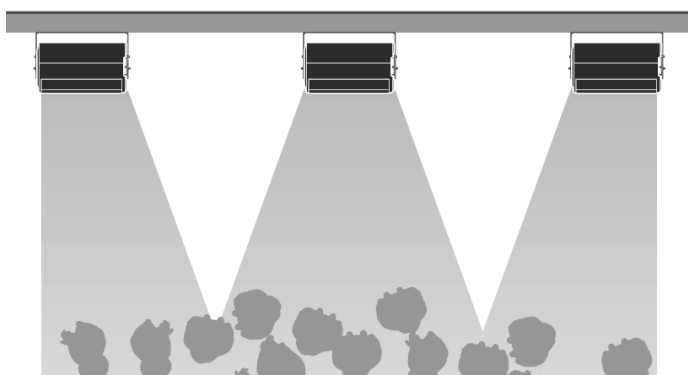
側面図

100°の垂直カバレッジと、 $\pm 115^\circ$ の取り付け調整角のイメージ



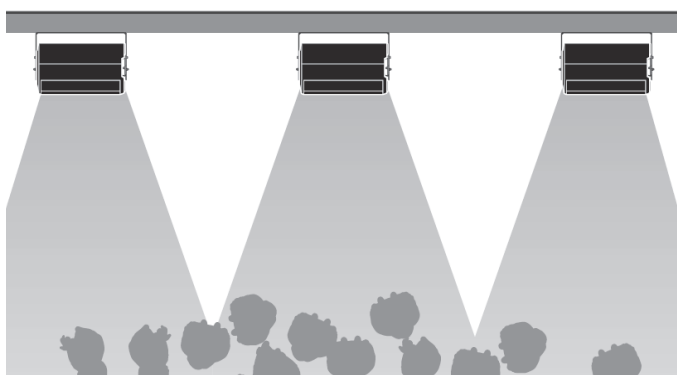
上面図: リバースJ、C、Jパターン

側壁からの反射を軽減し、明瞭性を向上する非対称カバレッジを構成可能



上面図: C

100°の垂直カバレッジと左右対称の水平カバレッジ

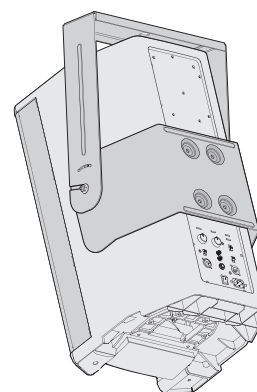


ヨークマウンティングキット

ヨークマウンティングキットでは、天井に設置したスピーカークの垂直（上下の角度）および水平（左右の角度）の振り角を調整できます。フレキシブルアレイによって、さらに指向性（垂直方向）を最大40°まで微調整できます。ヨークマウンティングキットは、標準天井および高天井への設置に適しています。

詳しい安全上の注意および設置手順については、マウンティングキットに同梱の「**Yoke Mounting Kit Installation Guide**」（ブラケットの取り付け方）を参照してください（製品コード736451-0110）。

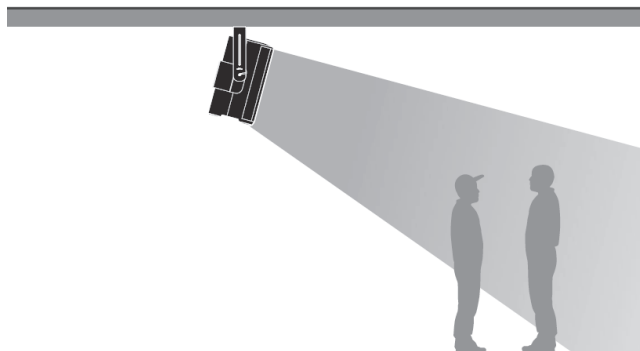
ヨークマウンティングキットの調整幅 天井吊り下げ時	
垂直方向の振り角度	水平方向の振り角度
±45°	±7.5°



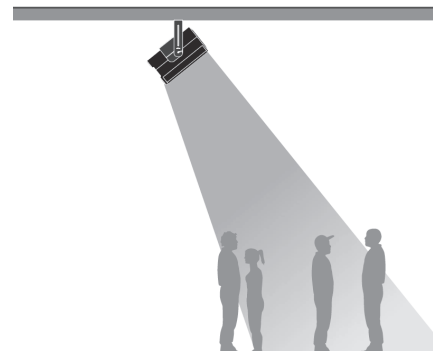
ヨークマウンティングキットの指向特性

側面図: Jパターン

標準的な天井

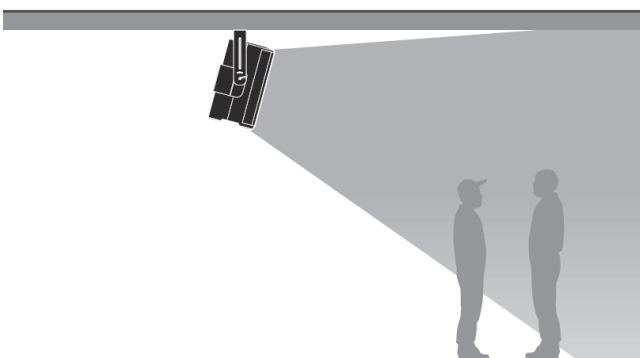


高い天井

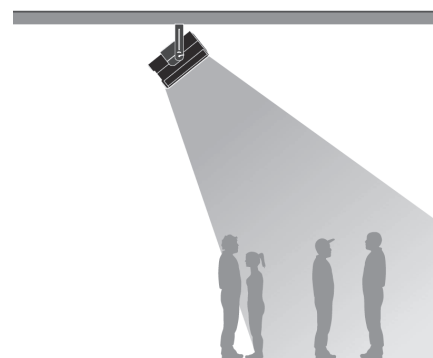


側面図: Cパターン

標準的な天井



高い天井

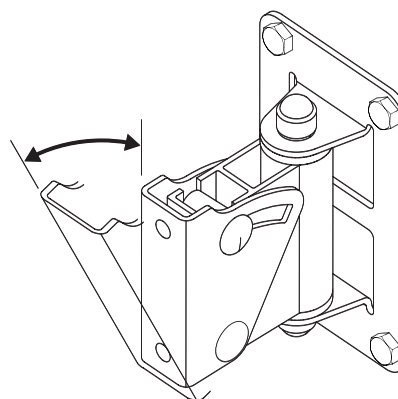


壁掛けブラケット

壁掛けブラケットでは、壁に取り付けたF1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerの水平(左右の角度)と垂直(上下の角度)の振り角を調整できます。Flexible Arrayによって、さらに指向特性(垂直)を最大40°まで微調整できます。

詳しい安全上の注意および設置手順については、ブラケットに同梱の「**RMUBRKT1 Pan-and-Tilt Bracket Installation Guide**」(ブラケットの取り付け方)を参照してください(製品コード738453-0110)。

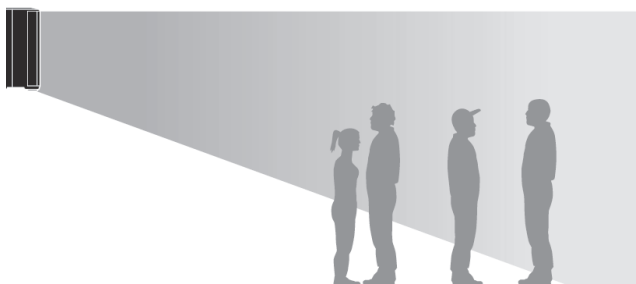
壁掛けブラケットの調整幅		
スピーカー マウント方向	水平方向の 振り角度	垂直方向の 振り角度
水平	±15°	0°～30°
垂直	±45°	0°～15°



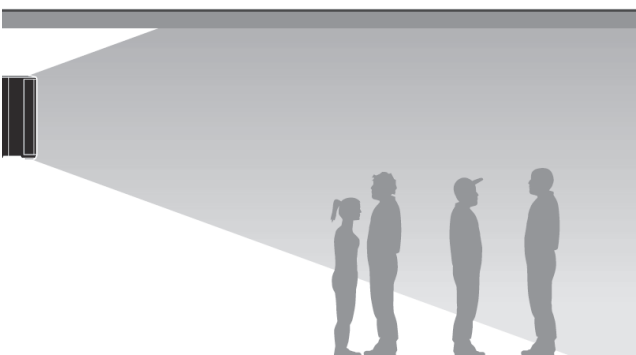
壁掛けブラケットのカバレッジパターン

側面図: Jパターン

スピーカーを傾けることなく最適なカバレッジを実現



側面図: Cパターン

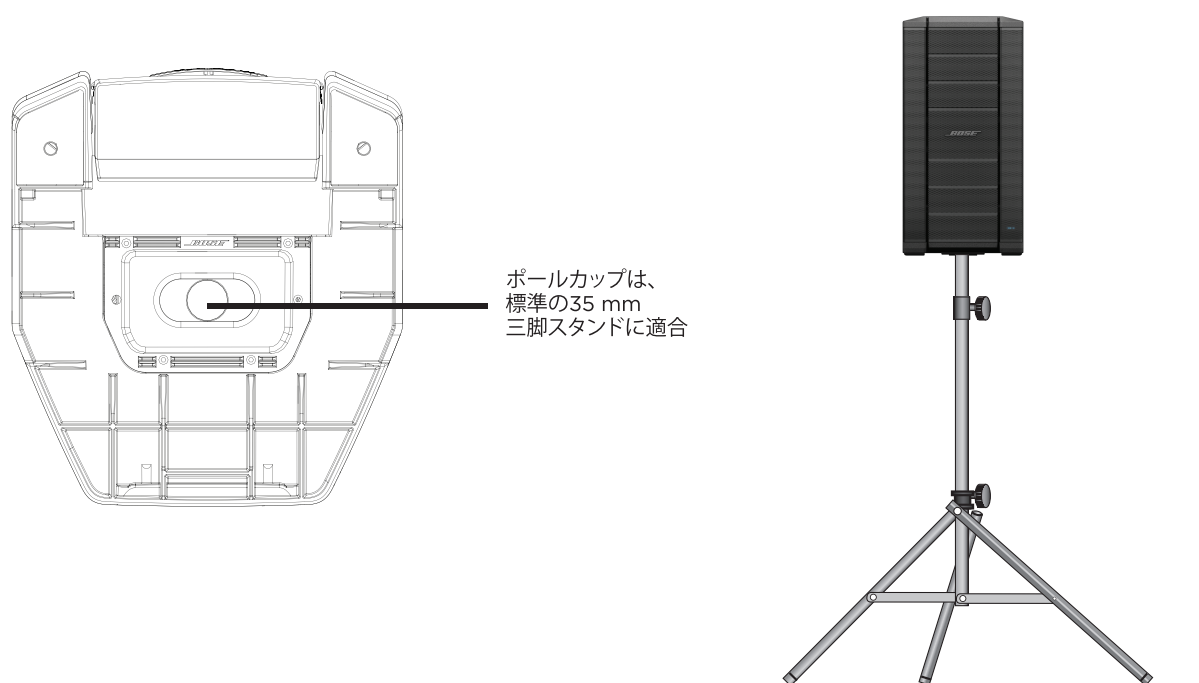


三脚スタンドで使用する

F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerの下部には、スピーカーを三脚スピーカースタンドに取り付けるためのポールカップがあります。ポールカップは、一般的な35 mm径に適合しています。

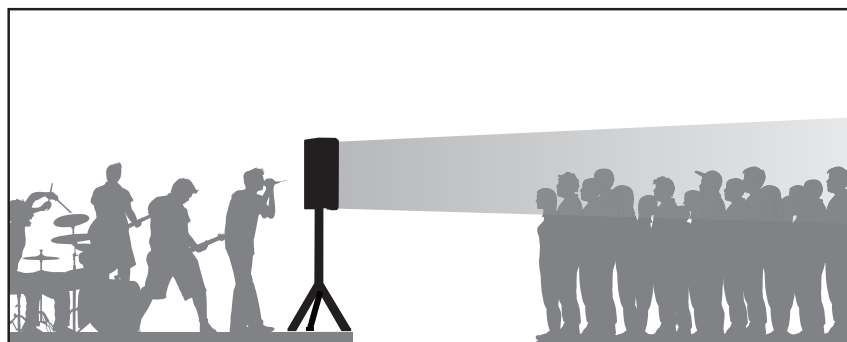
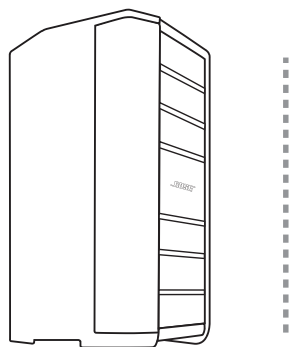
警告: F1サブウーファーに付属の専用スピーカースタンドは本製品 (F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker) には対応していません。F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker の下部は、35 mm径のポールでのみ使用するように設計されています。

警告: F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerを不安定な三脚スタンドで使用しないでください。スピーカーは、35 mmポールでのみ使用するように設計されており、三脚スタンドは次の重量とサイズを支えられる必要があります: 質量: 21.31 kg以上 (47 lb以上)、全体のサイズ: 665 mm (H) x 334 mm (W) x 375 mm (D) 以上 (26.2インチ x 13.1インチ x 14.8インチ以上)。F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerのサイズと質量を支えるように設計されていない三脚を使用すると、不安定で危険な状態となり、負傷につながる可能性があります。

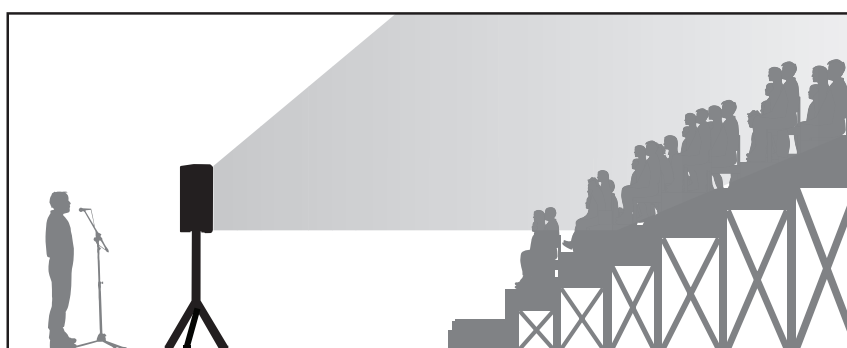
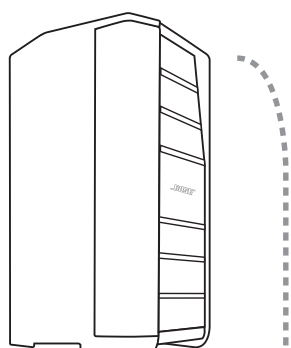


三脚スタンド使用時のカバレッジパターン

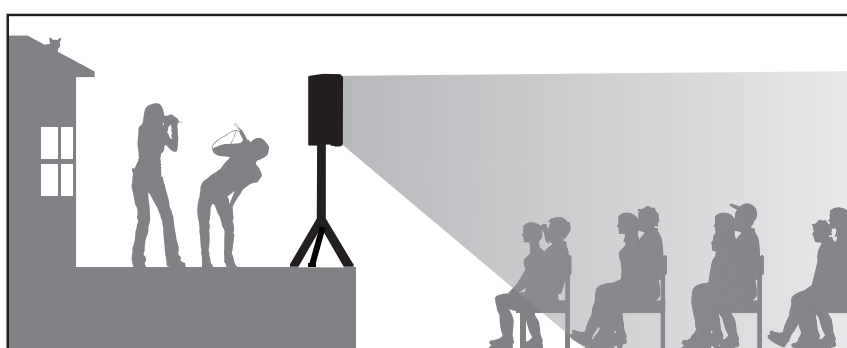
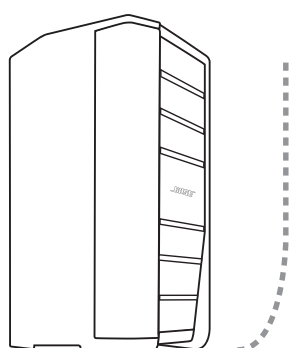
側面図: ストレートパターン



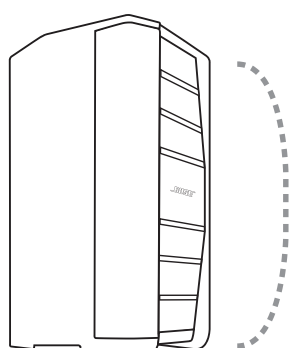
側面図: リバースJパターン



側面図: Jパターン



側面図: Cパターン



推奨パワーアンプ

お求めのスピーカーにふさわしい出力のパワーアンプを選択するには、ドライバーの長期（またはRMS）許容入力、入力ソース（クレストファクター）、必要音圧レベル、その他の要因の分析が必要です。一般的なガイドラインとして、下記の表に推奨されるパワーアンプ出力を示します。

モデル	公称インピーダンス	必要チャンネル	アンプの定格出力
F1 Model 812 Passive	8 Ω	1	300～1200 W



注意: 本ガイドラインに従わない場合、スピーカーを損傷する可能性があります。

Bose® PowerMatch configurable power amplifiersは、F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker用に、最適なパワーリミッター、アンプ制限、DSP処理、スピーカーアクティブEQプリセットを提供します。パワーアンプの詳細についてはボーズのWebサイトに記載されている仕様を参照し、上記の表と比較の上、システム設計に最適なモデルを選定してください。

推奨DSP設定

スピーカー保護用のバンドパス設定、アンプの出力リミッター、および最適な音質を得るためのF1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker用のアクティブEQには、デジタルシグナルプロセッシング（DSP処理）が必要です。ボーズのPowerMatchアンプは、出力リミッター機能を含む必要とされるすべてのDSP機能のほか、フレキシブルアレイの4ポジションそれぞれに対応したスピーカーアクティブEQ値を自動的に設定するプリセットを提供します。

また、ESP-880、ESP-1600、ESP-1240、ESP-4120、ESP-00IIなどのBose ControlSpace® DSPハードウェアを使用してスピーカーアクティブEQおよびスピーカー保護用のバンドパス設定をすることも可能です。

最新のボーズスピーカー専用アクティブEQが含まれる最新のPowerMatchおよびDSPハードウェア用Control Space Designerソフトウェアは、**ボーズのWebサイト**で確認できます。

次の表に、F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerをフルレンジ（追加サブウーファーなし）で使用する場合に必要なバンドパス設定および出力リミッター設定を示します。

Speaker	Bandpass				Limiter					
	High Pass		Low Pass		V Peak			V RMS		
	Type	Freq.	Type	Freq.	Threshold	Attack	Release	Threshold	Attack	Release
F1 Model 812 Passive	BW24	40	BW24	20000	100	1.5 ms	100 ms	50	1 s	2 s

次の表に、F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerをフルレンジ (追加サブウーファーなし) で使用する場合に推奨されるアクティブEQの設定値を示します。使用できるEQが9バンドより少ない場合、バンド9、バンド8、バンド7の順で差し引いてください。

ストレートパターン

	Band 1	Band 2	Band 3	Band 4	Band 5	Band 6	Band 7	Band 8	Band 9
Frequency	60	115	400	485	570	1000	3000	6800	12000
Gain	9.0	3.1	-2.0	-5.0	2.0	-2.0	-4.5	1.0	2.0
Bandwidth	0.500	0.800	0.330	0.750	0.300	0.333	1.752	0.800	0.500
(Q)	2.871	1.780	4.320	1.902	4.800	4.323	0.775	1.780	2.871

Cパターン

	Band 1	Band 2	Band 3	Band 4	Band 5	Band 6	Band 7	Band 8	Band 9
Frequency	60	115	400	485	570	1000	2500	3000	9500
Gain	9.0	3.1	-2.0	-5.0	2.0	-2.0	-5.2	6.5	1.0
Bandwidth	0.500	0.800	0.330	0.750	0.300	0.333	1.550	High Shelf	1.300
(Q)	2.871	1.780	4.320	1.902	4.800	4.323	0.887	High Shelf	1.073

JおよびリバースJパターン

	Band 1	Band 2	Band 3	Band 4	Band 5	Band 6	Band 7	Band 8	Band 9
Frequency	60	115	400	485	570	1000	3000	3500	6850
Gain	9.0	3.1	-2.0	-5.0	2.0	-2.0	-4.5	2.0	1.5
Bandwidth	0.500	0.800	0.330	0.750	0.300	0.333	1.950	High Shelf	1.000
(Q)	2.871	1.780	4.320	1.902	4.800	4.323	0.686	High Shelf	1.414

推奨サブウーファー

F1 Model 812 Passive loudspeakerはサブウーファーなしでフルレンジ再生が可能です。更なる低域の拡張のためにサブウーファーを使用する場合は、固定設備用途では「MB12」サブウーハーが推奨です。

F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerではF1サブウーファーを使用することも可能です。ただし、F1サブウーファーはアクティブサブウーファーであり、F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerを含むパッシブのシステムセットアップには適さない場合があります。

警告: F1サブウーファーに付属の専用スピーカースタンドは本製品 (F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeaker) には対応していません。F1 Model 812 Passive Flexible Array loudspeakerの下部は、35 mm径のポールでのみ使用するように設計されています。

物理的仕様

コネクター	NL4 NEUTRIK® speakON®コネクター x 2 (パラレル) ネジ式端子台 x 4 (パラレル)
吊り下げ／取り付け	M8取り付けインサート x 6、35 mm径ポールマウント用ポールカップ x 1
エンクロージャ	耐衝撃コンポジット材
グリル	パウダーコーティングスチールグリル
寸法 (H x W x D)、mm	665 mm x 334 mm x 375 mm
寸法 (H x W x D)、inch	26.2 x 13.2 x 14.8 インチ
質量	21.3 kg
使用環境	屋内

技術仕様は変更される場合があります。最新の技術データシートおよび詳細については、**ボーズのWebサイト**をご覧ください。

保証

本製品には製品保証が付いています。保証の詳細については、付属の保証書をご覧ください。

NEUTRIK®およびspeakON®は、Neutrik AGの登録商標です。

連絡先情報

次のウェブサイトアクセスしてください。pro.Bose.com

南北アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)

Bose Corporation
The Mountain
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center: 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support: 800-994-2673

オーストラリア

Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
TEL 61 2 8737 9999

ベルギー

Bose N.V./ S.A
Limesweg 2, 03700
Tongeren, Belgium
TEL (32) 012-390800

中国

Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd
36F West Gate Tower
1038 West Nanjing Road
Shanghai, P.R.C.200041 China
TEL 86 21 6271 3800

フランス

Bose S.A.S
12 rue de Temara
78100 St. Germain en Laye, France
TEL 01-30-61-63-63

ドイツ

Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
TEL 06172-7104-0

香港

Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
TEL 852 2123 9000

インド

Bose Corporation India Private Limited
Salcon Aurum, 3rd Floor
Plot No. 4, Jasola District Centre
New Delhi – 110025, India
TEL 91 11 43080200

イタリア

Bose SpA
Centro Leoni A – Via G. Spadolini
5 20122 Milano, Italy
TEL 39-02-36704500

日本

ボーズ合同会社
電話 0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ

Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE
Edam, Nederland
TEL 0299-390139

英国

Bose House
Quayside Chatham Maritime
Chatham, Kent ME4 4QZ
TEL 44 (0)3330-142545

その他の国については、Webサイトをご覧ください

輸入者情報

EU

Bose GP, Castleblayney Road, Carrickmacross, County Monaghan, Ireland

中国

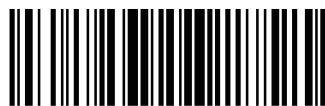
Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China
(Shanghai) Pilot Free Trade Zone

台湾

Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No.10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan

メキシコ

Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F.



740742-0010

BOSE[®]
Better sound through research[®]

©2016 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM740742 Rev. 02

OM-1566-B
17•09 (B)